

淀川水系流域委員会 様

2008.2.4

伊賀・水と緑の会 畑中尚

7年余の審議・科学的精査検討など本当にご苦労様です。いよいよ審議も大詰めになっています。年度末には「原案に対する意見書」を国土交通省近畿地方整備局に提出されることと察します。

- 1、 川上ダム建設予定地の自然環境がどのように保全できるのか。
- 2、 治水の効果は科学的に検証できるのか。
- 3、 利水の必要性と費用対効果の合理的説明。
- 4、 地質等の安全性、断層の上にダム建設。

既設ダムの長寿命化の為に川上ダム建設が言われだしましたが、とんでもないことです。個々のダムで時期・方法を考えることが大事です。科学者・専門家のご意見をお聞きするまでも無いことです。

水資源機構川上ダム建設所が発行している「ダム通信」を資料として添付いたします。淀川水系流域委員会の大詰めの審議もどこ吹く風で所長挨拶が町内に配布され、市の広報と一緒に回覧されています。

問題点は、「基本方針」策定、これを受けての「原案公表」これにより今年度末には川上ダムの建設が明確に位置づけられ、と断定していることです。

そして36億円の予算を確保したと胸を張っています。

もう少し、慎んだらいかがといたいのです。淀川水系流域委員会で川上ダム建設所の所長に一言でいいですから見解を求められたいと思います。 以上

K A W A K A M I D A M 2008  
川上ダム通信 1 月号

独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所  
〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL: 0595-52-1661 (代)  
<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami>

## 地域の「安全・安心」に寄与する川上ダム建設を目指して!

平成20年第1号の川上ダム通信の発行にあたり、川上ダム建設所に勤務する職員を代表して、一言ご挨拶を申し上げます。

本年は、川上ダム建設所が伊賀市（旧青山町）に事務所を構えてから26年目となります。この間、国及び三重県、地元伊賀市（旧青山町）などのご協力を得て事業を展開してまいりました。

平成19年は、川上ダム建設事業にとって大きな節目の年でありました。国土交通省において、待望の「淀川水系河川整備基本方針」が8月16日に策定され、引き続き8月28日には、同省近畿地方整備局から淀川水系河川整備計画原案が公表されました。これにより今年度末には川上ダムの建設が明確に位置づけられ、今後は伊賀地域と下流淀川・木津川沿川地域の洪水被害の軽減、水道用水の確保、既設木津川上流ダム群の治水機能の長寿命化（堆砂除去）のための代替補給などの目的を持って、事業を進めていくこととなります。

さて、平成20年は川上ダム建設事業を大きく前進させる年となります。ダム事業関連の法手続きが着々と進む中、関係の皆様のご支援のもと平成20年度予算は本体関連準備工事である転流工工事を含め36億円を確保することができました。

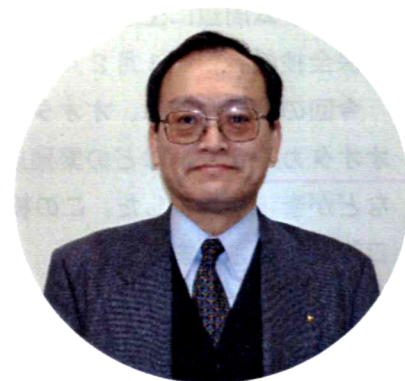
私たち水資源機構川上ダム建設所では、地域の「安全と安心」を担う川上ダムの早期完成を望む皆様の切実な声に迅速に応えることが、私たちに課せられた使命と肝に銘じ、機構の有するダム築造・管理に

する知見・技術を総動員して、「安全で良質な水を安定して安くお届けする」という経営理念を実践するとともに、皆様から愛されるダムを目指して、地域の多くの方々と緊密に連携を図りながら、事業進捗に努めて参る所存であります。

平成20年も引き続き皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。本年が皆様にとりまして輝かしい1年となりますことを祈念し、年頭のご挨拶といたします。



川上ダム完成予想図



川上ダム建設所長 及川拓治

【川上ダム建設所長 及川拓治】